



Vol. 559 令和3年5月

NEWS



NPO 法人 横浜発明振興会

今月の行事

5月「ハマ発明教室」オンライン開催

新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、5月も引き続き感染症対策として、オンラインで開催します。

とき 令和5年5月9日(日)

午後12時45分入室開始

(1時15分までに入室して下さい。)

開始 1時30分～4時30分

ところ ZOOMオンライン上に集合

<https://us02web.zoom.us/j/84697933798?pwd=ZlhZQ2NERndWNXlrZEw4WXNQaEZYUT09>

ミーティング ID: 846 9793 3798

パスコード: hamaha2

(メールアドレス登録済の方には、/ 送信します。
再連絡希望の方は、当会アドレス
info@yokohama-hatsumei.com へご連絡を)

1. 第1部：令和3年度通常総会
2. 第2部：ハマ発明教室

発明研究会：テーマ「発明アイデア・ヒラメキ
4コマ漫画家の日常に学ぶ！」

通常総会終了後、3時頃開始予定。

今月はアイデア作品の発表は行いません。

第79回全日本学生児童発明くふう展

第79回を迎える今回は、全国各地で開催された発明くふう展等で優秀な成績を収め推薦された551作品と、新型コロナウイルスの影響によりコンクールを実施なかった地域から直積応募された225作品、合計776作品の応募があり、審査委員会で審査の結果、下記の作品が恩賜記念賞に選ばれました。

○恩賜記念賞

「ドアの新型コロナウイルス不活化装置」

福島県福島市立

北中学校1年

佐藤 琉碧君



新型コロナウイルスの流行により、誰が触れたのか分からないドアの開閉に不安を感じていたところ、紫外線でウイルスを不活性化できることを知り、コロナ禍の不安を解消したいと思いこの装置を製作しました。紫外線は人間の皮膚や目にも悪影響があるため、装置とドアの前に立つ人との距離を測定し、装置の近くに人がいない時だけ紫外線をドアのハンドルに照射する仕組みにしています。オリンピックやパラリンピックで来日した方や、目や耳が不自由な方にも不活性化の状態が伝わるように工夫しました。

第 624 回 オンライン・ハマ発明教室

(日曜発明教室)報告

ZOOMにより 4月11日(日)に開催しました。
出席者 役員7名、会員5名
計 12名

○第一部 作品発表

作品名	発表者
① 納豆スプーン	小林 芳人氏
② テーブルブックスタンド (卓上簡易本立)	中丸 和行氏
③ ペットボトルキャップの 五徳ホルダー	大庭 實氏

○投票の結果、次の通り賞が決まりました。

『最優秀賞』 6票

②テーブルブックスタンド 中丸 和行氏
(卓上簡易本立)

テーブル上で読書中、書籍を整理、整頓する簡易な本立ての提案

提案するブックスタンドは卓上の書籍を以下に示した様に、整理、整頓、移動を簡易に行える。
2枚の金属プレートにエッジを取り付けたベースにゴム製のベルトにて書籍をホールドする。
この状態で書籍は卓上に安定して縦置き、横置きに置くことができる。



テーブルブックスタンド

縦置き状態(書籍)

- ① ブックスタンドの構成はエッジを取付けたステンレスプレート2枚とゴムバンドで構成。
- ② 書籍の厚と冊数に合わせてステンレスプレート2枚のエッジ間隔を調整できる。
- ③ ベースプレートにセットした書籍をゴムバンドにて繋結する。
- ④ 読書中の書籍スペースはホールドされるので、読書後に戻すことに支障はなし
- ⑤ 卓上の清掃時には全体のブックスタンドと書籍を簡易に移動できる。



①部分



④部分

『奨励賞』

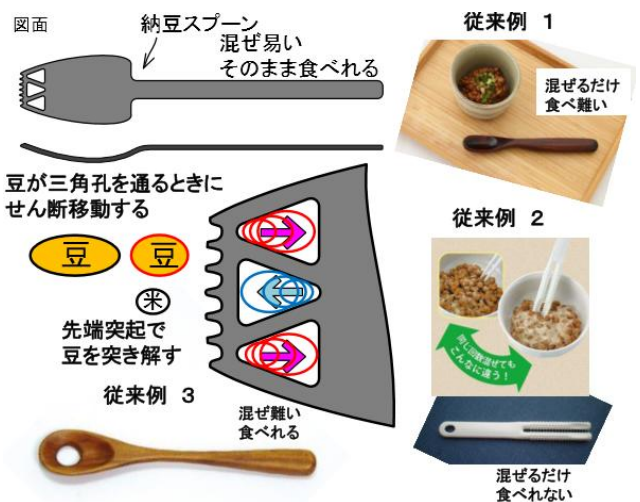
③ペットボトルキャップの 大庭 實氏
五徳ホルダー



ペットボトルのキャップが、生姜の皮むきや、魚の鱗取りに便利であることは、広く知られているが、キャップを指で掴んで作業をするのは、やりにくさがある。簡易的なホルダーを製作したが、台所で、より便利に使えるよう多目的化を図ったもの。最終的に、次の5種類の目的で利用できるようにデザインした。

- 1) 生姜等の根菜類の薄皮剥ぎ
 - 2) 魚の鱗取り (取れた鱗の飛び散り軽減効果あり)
 - 3) 缶詰の蓋リング起こし
 - 4) スパゲッティの軽量
 - 5) ペットボトルのキャップ外し
- その他、調味料の軽量に使用すれば、6徳になる。

①納豆スプーン 小林 芳人氏



説明(目的、構造、効果など)

従来例 1: かき混ぜ難い、食べ難い

従来例 2: かき混ぜ易い、食べられない

従来例 3: かき混ぜ難い、食べられる

○課題 かき混ぜ易く、納豆ご飯をスプーンで食べられる納豆スプーン

○解決手段

- ・スプーンに互い違いの向きで納豆粒が通過できる大きさの三角孔を設ける。
- ・先端に納豆を突き解す先端を丸めた複数の突起を設ける。
- ・突起先端位置をご飯茶碗の内径に略合わせた円弧譲渡する。
- ・突起先端の間隔を米粒以下とする。

○効果

- ・納豆を糸引き状態にかき混ぜることが早くできる。(せん断混ぜの効果大)
- ・糸引き状態の納豆をご飯にかけてこぼさずにスプーン食べできる。
- ・器にくっついた米粒・納豆粒を残さず掬い取れる。
- ・納豆を突き解す際に先端突起が納豆粒に突き刺さらない。

○第二部 発明研究会

「発明品を作り出す道具、工具」

会員の自宅にある便利に使っている手持ち道具や自慢の道具などの情報交換を行った。今回、5名の方に情報提供の協力をお願いし、自宅工場の風景をライブ撮影しながら道具の紹介をしていただいた。

ボール盤

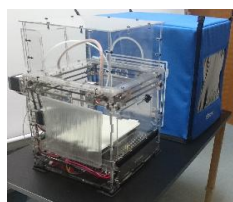
1. 大庭氏の道具

- ・ボール盤
- ・グラインダー
- ・UV硬化する材料
- ・ヒーター(焼き鳥用流用)
- ・丸ノコギリ



・作業ウエストチャンバ：
丸ノコギリ使用時に排出する切粉を室内に飛び散らないようにする防塵用の箱である。

3Dプリンタ：ソフト Fusion360 を用いて、円筒の立体図作成の模擬実演があった。など



3Dプリンター

2. 鋸屋氏の道具

- ・金属用のはさみ:紙以外に、アルミもよく切れる
- ・ミニルータ:乾電池で動く。

表面が削れ、絵などが描ける。

- ・LEDライト付きアームルーペ(虫メガネ)
:1.8倍に拡大して物が見られる。がさらに拡大したい場合、他の虫メガネを組み合わせる使用すれば倍率アップできる。
- ・3Dプリンターの紹介があった
1年半かけ、手作りで製作したことと同時に、図面などの製作プログラムも会得できた。
- ・プラリペア(造形補修材):液と粉を必要量だけ混ぜ合わせると、プラスチックを強力に補修でき、強力な接着効果がある。

超音波カッター



・超音波カッター:不織布など通常カッターで加工しにくい素材もきれいに切断可能。など

3. 伊藤氏の道具

- ・クランプ:C字形の締め付け具である。
- ・クラフト精密用ノコギリ。
- ・精密ヤスリ:10種類以上。
- ・木工ドリル:多種類あり。
- ・両面接着テープ。



クラフト精密用鋸



・小型万力:チャックの両面に杉板を当て、品物にキズをつけないようにしている。など

4. 桑井氏の道具

- ・テーブルバイス:剛性あり
- ・コーティング付きハサミ:粘着性のシートを切ってもくっつかない。
- ・手芸用樹脂粘土:色は多種類あり、造形が自由にできる。
- ・グラインダー:回転速度制御可能型。高回転では騒音が大きいので、減速して使用する。など



5. 今澤氏の道具

故今澤氏が長年多くの発明品を製作される際、愛用されていた工作機械、道具などを、ご紹介していただいた。(生前撮られた道具のスナップ写真をご家族の方から送っていただいたものです。)

旋盤



- ・工房の広さは約4畳半、愛用された道具や工作機械はおびただしく準備されていて、発明研究

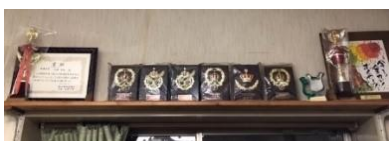
に対する並々ならぬ活力が偲ばれます。

- ・ 穴あけ装置とホールソー類：金属薄板の穴明け用の道具一式(多数あり)
- ・ フライス盤、旋盤、ボール盤：通常の町工場で使用される工作機械の類のもの。
- ・ コレット類： 多種類あり。
- ・ 小型電動ノコ(バンドソー)
- ・ 研究ボックス：手作りの棚に、発明研究途中の品々がケース箱に個別収納してある。
- ・ 発明研究成果：リビングの欄間に飾られた
- ・ 数多くの「ハマ発の賞状や表彰楯」の資料。

ボール盤



今澤氏の賞状、表彰盾



以上、今回ご自宅の道具に関する情報の提供と準備にご協力していただいた方々には、厚くお礼申し上げます。また、故今澤様には、心からご冥福をお祈りいたします。

○今澤さんの実り豊かな発明人生を偲ぶ

～発明と仲間と家族を愛した男、逝く～

桑井 旭

2021. 4. 4 当会元役員の方の今澤幸也さんがお亡くなりになりました(享年87)。4年前に食道癌手術の後、リハビリも頑張って治療していましたが、肺炎を起こし急逝されました。今澤さんは、小生と同じNECの大先輩と云うだけでなく、発明を志す我々同志としても、晩節の在り方に「かくありたい」と思う故に、紙面を借りて会員の皆さんと彼を偲ぶ事とさせて戴きました。

2015. 9. 13 元気旺盛な頃 ハマ発明教室にて(左)

2019. 11. 10 作品説明の代行をする上村さん(右)



■■死の間際まで発明を愛する

「発明教室は、父の生きがいの場所だと思います。昨年はハマ発明教室に数回出席させていただき、賞をいただいた時は本当に嬉しそうでした」

(長女 深津章子様)

父親の生きがいをサポートすべく、遠方より付き添

いする深津様の姿に我々会員は心打たれていました。2014. 12. 14 発明教室の帰り上村さんと 3 人で(桑井宅にて)(左)

2019. 9. 8 「トイレ表示板」で最優秀賞を受賞(右)



■■仲間を愛する

正に、その通りだと思った体験をしました。

10 年前の事、耳の遠い人に「ケアホン」という助聴器を商品化した女史社長に、今澤さんは初売り込み先として、離床センサー「テクノスジャパン」を紹介してくれました。「東京ビッグサイト」展示会場に小生も同道して面談。開口一番、大西秀憲社長が「今澤さんは自分にとって神様のような存在です」と仰っていた事を今でもハッキリと覚えております。

また、「試作の名人」こと上村賢治さんと「試作サポート部」を立ち上げて会員らの発明試作を多数完成。他人の発明を形にするには、時間と根気と自家装置が欠かせません。入院先の病床から、発明に関しての改良提案の電話を貰った人の話も聞きました。

■■家族を愛する

「いつも嬉しそうに製作していた父の姿が浮かびます。最後に取り組んでいたのは、ごぼうの皮むき器と苺のヘタ取り器でした。お陰で余った苺を沢山食べました(笑)」(深津章子様)

孫 7 人と曾孫 5 人に恵まれ、兄弟や親族を楽しませての有意義な発明人生の大往生でした。

やりかけの発明を多く残してさぞ心残りだったと思います。しかしあの世で、大好きな発明を更に考案製作する姿を我々なりに「偲想」しながら、心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

今澤幸也氏の記録

昭和 8 年 7 月 14 日 山梨県生まれ(10 人兄弟の末子) NEC 入社 田町本社勤務 製造技術部長

40 年前「兵庫 NEC 工場長」(7 年間単身赴任)

令和 3 年 4 月 4 日 87 歳没

戒名「篤心幸榮信士」(情に篤く好奇心旺盛 人と交わることを喜び 栄をもたらす)

咲き競う八重の桜もやおら散る 見上げる頬で逝きし友偲ぶ(桑井 旭)